

年度評価シート（令和6年度）

課名 商業労政課

施設の名称 静岡市南部勤労者福祉センター	指定管理者名 公益財団法人静岡市文化振興財団
1 履行状況	
(1) 目標達成 利用者満足度 目標値90%、実数値97.3%（前年度94.7%）、達成率108.1%（前年度比102.7%）	
(2) 施設利用状況 利用者数 令和6年度 25,945人（前年度25,070人）（前年度比103.5%） 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値34,338人、▲24%	
(3) 人員配置状況 仕様書に基づき適切な人員配置がなされている。 専任職員 正規職員1名、パート6名	
(4) 事業実施状況 静岡市勤労者福祉センター条例第18条の規定に基づき、条例第22条各号に掲げる南部勤労者福祉センターの管理について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。	
ア パソコン講座 11コース、27講座、197回（394時間） ワード・エクセル入門等の講座を実施した。	
イ フィットネス講座 9コース、30講座、304回（304時間） 新たに、駿河生涯学習センターで実施している人材育成講座の修了生を講師に迎えたコースを開講した。年度中には、同コースの受講者による生涯学習センター利用団体のヨガサークルも立ち上がり、健康文化交流館という複合施設の強みを活かして、広く健康増進に努めた。	
ウ トレーニングインストラクター指導 152回（304時間） 毎週3回、担当インストラクターの専門性を活かして、ダンベルやバーベル等を用いた、効果的で特色ある指導を実施している。	

エ その他事業（広報事業除く）

63回

- ・パンチキックエクササイズ（48回）
- ・初心者対象パソコン相談室（12回）
- ・来・て・こトークシリーズ③TVODのサブカルチャー講座Vol.3（1回）
- ・来・て・こトークシリーズ④TVODのサブカルチャー講座Vol.4（1回）
- ・来・て・こ祭（1回）

【検証・分析等】

来・て・こトークシリーズにおける講話では、不安定な現代社会において、文化や社会について参加者自らが考える手助けとなる講師を選定した。21世紀以降、インターネットの普及によって大きく変化したメディア環境の中における文化・社会状況の変遷を取り上げた点に独自性があり、好評を得た。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

意見等：以前設置されていた浴室内の棚が無くなり不便である。タオル等を置く場所として設置して欲しい。

対応：浴室内の棚は、以前使用していたものに錆があり、物品が汚れるとのご意見が前月にあったことから一時的に撤去したが、既に新しいものを設置済みである。

【検証・分析等】

苦情があった際には迅速に対応を行うとともに、その後、長期的な視点から改善の余地がないかを検討し、実行している。各利用者の要望が食い違った場合にも、調整を図りながら公正に対応している。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

利用者満足度調査

利用者満足度

職員の対応に「満足」「やや満足」等と回答した人数252人（回答者数259人、97.3%）

利用者の施設サービス満足度は高い。

○：調査の結果が概ね良好である。

【検証・分析等】

利用者の満足度は高い。

南部勤労者福祉センター単体の認知度や、勤労者福祉としての施設の認知度に関する調査は未実施となっている。

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

収入状況はコロナ禍5割程度まで落ち込んだが、フィットネス利用者、貸館利用者ともに増加傾向にあり、それに伴い現在は8割程度まで回復している。対して支出は毎年度同水準となっている。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

管理運営は安定しており、講座の実施にあたっては毎年度内容の見直しが行われ、利用者からの満足度も高い。サークル結成の支援をはじめ、柔軟な対応にも十分に対応できている。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。